

おたがいに気分がよくなるあいさつをしよう

校長 鈴木雄詞



10 月 22 日 修学旅行 清水寺から京都市内に向かって「こーんにーちはー！」

滝呂小学校の子どもたちの「あいさつ」がグングンよくなっています。10月13日の始業式で、子どもたちにこんな話をしました。

あいさつを、ただ「する」のではなく、相手も自分も「さわやかないい気分」になる挨拶にしていってください。いえ、一緒にがんばりましょう。

校長先生は、朝、通学路や校門で、皆さんに挨拶をしています。4月からずっと、最高のあいさつをする6年生がいますので紹介しましょう3組のN.Iくんです。N.I君に挨拶されると、こちら最高にいい気分になります。皆さん、N.I君のようになるには、どうすればいいと思いますか？

校長先生から3つの秘密を教えちゃいます。

その1、相手の顔を見る。

その2、にこっとする。

その3、聞こえる声でいう。

です。この3つで「おはようございます」を言ってみてください。

秋には、修学旅行、自然の家合宿、校外学習など、学校から出かけていくことが多いです。そんなときも、お世話になる人たちに、気分がよくなるさわやかな挨拶をしてください。これは、素敵な大人になるための練習でもあります。（このあと、近くの友だちや先生と2回練習しました）

すると、次の日から、さっそく朝の登校時や、廊下ですれ違った時などに実践する子が出てきました。先生たちもすかさずほめたり広めたりしています。まだまだ作り笑顔だったり、ぎこちない笑顔だったりするのですが、やってみようとしている姿が、たまらなく愛おしいです。滝っ子たちが、挨拶を頑張り始めました。おうちや地域でもチャンスを見逃さず励ましてやってください。

学校の様子は
ホームページからも
ご覧いただけます→

